

那須の「見えない魅力」を五感で学ぶ：校外学習振り返りレポート

那須町の小学6年生が、インタープリテーション（解説）を通じて地元の魅力を探求。
殺生石、那須岳、NASU BURGER、南ヶ丘牧場を巡り、表面的な観光スポットの裏にある1400年の歴史や
開拓の苦勞を知ることで、自分たちが「観光地域づくり」の担い手であるという意識を育んだ記録です。

持続可能な未来へ：食と感謝のつながり

知識で変わる景色の見え方：歴史と自然の背景



1400年続く温泉と800年の御神木
鹿が発見した「鹿の湯」など、平安時代から
続く歴史の深さに生徒は驚愕。

風が雨を作り、水が命を育む
那須岳の厳しい風が曇と雨を作り、
生活用水に変わる自然の
循環を学んだ。

78年前の「何もない場所」からの開拓
78年前の「何もない場所」からの開拓
南ヶ丘牧場が、戦後の荒地を人力と
執念で切り拓いた汗と涙の歴史を共有。



地元が詰まった「NASU BURGER」の誇り
地産地消が農家を支え、環境を守る「持続
可能な観光」の形を味覚で体験。

背景を知ると「100倍美味しくなる」
苦勞して作られたソフトクリームやバー
ガーへの感謝が、味を創的に変えた。

「楽しい」で終わらせない、
これからの自分たち
学んだ魅力を家族や他県の人へ紹介し、
那須のファンを増やす目標を持った。

インタープリテーションを通じた生徒の意識変化



インタープリテーションで
那須の魅力を知れた



施設にある見えない歴史や
人の関わりに気付けた